

英語の音声教育に必要な知識と技術 学校教育と言語研究の連携

2010年10月10日(日)

開場:12:30(開始:13:00) 終了:16:30

神戸大学百年記念館六甲ホール(神戸市灘区六甲台町1-1)



趣旨 ●●●●

本セミナーは、英語教育の基礎的段階における音声教育のあり方について、言語教育現場のニーズに配慮しながら、異なる立場の人々が集まって、理論と実践の両方の視点を通して快適に意見や情報を交換し、議論することを目的とします。

特に、小学校の外国語活動と中学校英語教育、さらには高等学校英語教育のコミュニケーション活動に一貫して必要な発音技術や対話能力とは何か、どのような音声学の指導が必要であり、そのためにはどのような音声学的知識・技術が必要であるのかといったことについて、詳しく研究されているお二人の先生にお話を伺います。

研究成果の一端を学び、研究者と実践者の複眼的な検証を行いつつ、その応用を検討する場として、時にはアカデミックに、時には日常の研究・教育の諸問題を共有しつつ、対話活動のクオリティを上げる音声指導について、楽しく議論したり、演習したりしてみませんか。

MANAVI M.A.P.「対話能力育成のための言語教育」研究プロジェクト代表：
有働真理子

セミナー概要 ●●●●

参加対象：教員（小中高大）、大学院生、研究者（英語学・言語学・英語教育）など、その他英語教育に関わる方々
参加費無料：資料代別途 1,000 円をお願いします。

主催：MANAVI M.A.P.「対話能力育成のための言語教育」研究会 英語学・英語教育協同セミナー実行委員会

後援：兵庫教育大学、兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会

申し込み：本セミナー HP よりお申し込み下さい。演習実践が可能な人数の範囲（100名以下）で締め切ります。
公式 HP：<http://www.manavimap.com/>

世話人：岸本秀樹（神戸大学）

プログラム ●●●●

講演演習（1）13:00～14:30

高橋美由紀先生（愛知教育大学）

「外国語活動に適した効果的な音声指導について」

内容：

新学習指導要領に基づき、児童の言語習得の特性を生かした外国語教育の在り方について、コミュニケーション能力の育成のために、効果的な音声指導について、理論と実践の両面からお話しします。具体的には、歌やチャンツを効果的に使用して音声指導をする方法とその効果、カタカナ英語、和製英語を日本の言語文化として活用し、コミュニケーションの素地を養う外国語活動として適した指導法をお話します。

講師紹介：

英語教育（小学校英語教育）が専門。文部科学省委嘱事業「小学校英語活動地域サポート事業」や初等教育段階における英語教育のための教師研修会（兵庫教育大学）をはじめとして、国内外の各地で数多くの講演や講習を実施し活躍する。博士（京都大学）。

講演演習（2）15:00～16:30

保坂華子先生（東海大学）

「楽しい英語音声教育：音声学・音韻論と教育実践のコラボレーション」

内容：

音声や発音の仕組みなどの正しい知識を、実践的な発音練習、聴解練習、（より高度な発音記号が使いこなせる練習）と結び付け、積極的に取り入れ、学習者を参加させる授業への取り組み、そういう授業の方法、その効果（「音声ってそうになっているんだ！」と理屈がわかり、発音面・聴解面の向上があれば、満足度も高くなること）について語ります。アプローチとしては、音声教育・言語教育に限らず、ほとんどの分野の教育の場で活用していただけたらと思います。

講師紹介：

応用言語学・音声研究が専門。外国語なまりや、文脈の担う意味や機能、談話イントネーションを中心に学際的に活動している。第二言語話者の発話音声の特徴、音声面に関する指導、参加型授業のあり方を研究している。国内外での学会で多数研究発表あり。修士、博士課程単位満了（神戸大学）。